

## 「Joshikai in Fukushima」におけるディスカッション テーマ

テーマ:「未来社会に向けた私たちの科学」

(Science and Engineering for a Future Society)

私たちの生活、私たちの社会をよりよいものにしていくにはどうしたらよいでしょうか。自然を知り自然にないものを新しく作り出す、科学はそのための重要な視点の一つです。私たちの生活は科学が生み出したモノに囲まれ、そのモノが変われば私たちの生活も大きく変わります。例えば、スマートフォンはその典型でしょう。スマートフォンは今や世界中で使われていますが、初代の iPhone が登場したのは 2007 年、約 10 年前のことです。

スマートフォンはとても便利ですが、科学から生まれたモノがいつもただ便利なわけではありません。気候変動などの環境問題も科学の成果から生じてきたものであり、また福島第一原発の事故のように大変なことになることもあります。私たちの生活、私たちの社会をよりよいものにしていくには、科学から生じ得るいい面も悪い面も知って、うまく付き合っていくことが必要なのではないのでしょうか。

Joshikai in Fukushima に参加していただく皆さんの多くは、理工系に進んだ、もしくは進むことを考えていると思います。皆さんにとって、科学やそれを応用する工学とはどのようなものでしょうか、また、理工系に将来の進路をとったとしたら具体的にどのような仕事をして科学や工学と付き合っていきたいのでしょうか、そして、そのために様々なハードルを乗り越えて女性であるということをどう生かすことができるのでしょうか。理工系分野で学び、世界の第一線で活躍されているメンターと語り合い、一緒に考えていただきます。

(3つの議論の視点)

- ①: 科学・工学への社会の期待を高め、応えていくにはどうすればよいか？
- ②: 科学・工学への不信・不安とどのように向き合うことができるか？
- ③: 理工系に進路をとったとして、よりよい未来の社会のためにどんなアプローチをしたいか？その実現のためにはどのようなキャリアパスがよいか？

# ワークショップ内容

## セッション1、セッション2

まずは、一緒に議論するグループのみなさん、メンターの先生と、お互いの自己紹介をしてください。（セッション2ではメンターの先生が交代しますので、あらためて学生の皆さんはメンターの先生への自己紹介をお願いします。）

今回のワークショップでは、大きなテーマとして「未来社会に向けた私たちの科学」を掲げています。もちろん、理工系への進学や就職などのキャリア形成、将来の結婚・出産、科学の具体的疑問など、自分の興味のあることについて、自由にメンターの先生とやグループの皆さんと議論していただいて構いません。ただし、それらの議論を通じて、社会と科学の関係、よりよい社会を作るために科学ができることについても、ぜひ考えを巡らせてみてください。

## グループワークまとめ

2日目は、皆さんが、このJoshikai in Fukushimaを通じて得られた学びや気づき、自分の考え方に起こった変化などをグループ内で共有し、さらにそれをグループごとに全体に発表・共有していただきます。

参加いただいた皆さんが、それぞれの観点で得た学びや気づきを共有し合い、さらに深い学びを得ていただくことを期待しています。

なお、各グループのメンターについては、前日のセッション2から引き続き同じ先生に務めていただきます。

